



JAようてい大根・人参生産組合合同で道外視察・取扱反省会を行いました！



1月14日～16日、JAようてい大根生産組合（組合長：本田隆司さん）・JAようてい人参生産組合（組合長：田村豊和さん）合同にて、関西方面へ道外視察及び令和6年産取扱反省会（別会場・同時開催）を行いました。

視察研修は、大果大阪青果株式会社、JA全農大阪センター、タキイ種苗株式会社、丸種株式会社の4か所を実施いたしました。大果大阪青果では、関西方面の主要市場に参集頂き、令和6年産の産地・消費地情勢や令和7年産販売に向けて意見交換を行いました。タキイ種苗・丸種では、種苗の品質調査・検品現場、また育種（交配）現場を見学しました。JA全農大阪センターでは、本年度改修・拡張工事を行った施設や最新倉庫管理システムを見学し、また関西圏の小売り業界・



JAようてい大根・人参生産組合の皆さん（丸種株式会社）

取り組み内容について説明して頂きました。

今回の視察を通して、今後の販売や営農等への意見交換を交わし、令和7年産に向けて有意義なものとなりました。

【担当：岡原】



生食人参取扱反省会（大果大阪青果株式会社）



タキイ種苗株式会社



JA全農大阪センター

倶知安町馬鈴薯試食懇談会を開催しました！

1月27日、倶知安町馬鈴薯生産出荷対策協議会（会長：湯浅渉さん）は、ホテル第一会館で「倶知安町馬鈴薯試食懇談会」を開催し、組合員や関係機関など35名が出席しました。

試食会は、今後の馬鈴薯における品種毎の特徴や課題を改めて共有する事を目的として開催されました。当日は、5品種（男爵・とうや・キタアカリ・きたかむい・ゆめいころ）が用意され、参加者は品種名を伏

せられた状態で品種の予想や味、食感、1番好きな品種などのアンケートを実施し、5品種を当てた参加者は「じゃがいもマスター」として認定されました。

試食会終了後は、懇談会が開催され女性部考案のレシピも振舞われ、今後の馬鈴薯品種構成や倶知安町の農業について活発な意見交換が行われました。

【担当：福田（達）】



倶知安町馬鈴薯試食懇談会の様子